

丁抹國人勲四等アーゲルドヴィツグ
ヨルダン勲章加授ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

大正七年六月五日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅

公

内

閣

魚ニセ。地

大正七年六月四日

賞勳局總裁

大正七年六月四日

内閣總理大臣

賞勳局總裁



丁株有限責任大北電信會社長崎支社長
丁株國人勲四等アーゲ、ルドヴィック、ヨルダン儀ハ
明治二十五年十二月同社電信技師トシテ本邦
ニ渡来シ本邦ニ在勤スルコト二十五年餘ニ及ヒ
其間帝國ニ發著スル外國電報ノ取扱ニ關
與シ多大ノ利便ヲ供シ且帝國ノ國際電信業
務ノ改善發達ヲ促カシタルコト尠カラス殊ニ日

賞勳局

獨戰役ニ當リテハ發著電報取扱ニ便宜ヲ與ヘ
又大正三年中帝國政府々同社所有長崎上海
間海底電線ヲ借入上海發著和文電報ノ取
扱ヲ開始セルニ際シテハ懇切ナル援助ヲ與ヘタル
等其功績顯著ナル者ニ有之候處目下病氣
危篤ニ陥リ候趣ニ付此際特別ヲ以テ旭日小
綬章加授セラレ度此段允裁ヲ仰ク

人送第一一〇號

丁抹國人ヨルダン叙勲ノ件

丁抹有限責任大北電信會社長崎支社長
丁抹國人勲四等 Aage アーゲ、Judring ルドヴィック、Jordan ヨルダン叙
勲ノ儀別紙ノ通上奏致候間至急可然御
取計相成度此段申進候也

大正七年六月四日

外務大臣男爵後藤新平

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿



外務省

丁抹有限責任大北電信會社長崎支社長

旭日小綬章

丁抹國人勲四等アールデールドヴィツグ、ヨルダン

右者明治二十五年十二月丁抹國有限責任大北電信會社長崎支社電信技師トシテ本邦ニ渡來シ明治三十三年五月一日同支社長ニ昇進シタル者ニシテ本邦ニ在勤スルコト實ニ二十五箇年餘ニ及ヒ其間技師トシテ將々支社長トシテ帝國ニ發著スル外國電報ノ取扱ニ關與シ利便ヲ供スルコト尠クラス且帝國ノ電信業務殊ニ國際電信業務

外務省

ノ改良發達ヲ補授シ其功勞顯著ナルモノアリ曩ニ明治三十三年三月勲六等瑞寶章ヲ下賜セラレ次テ同三十五年七月勲五等ニ同四十一年十月勲四等ニ陞叙シ瑞寶章ヲ授ケラル殊ニ日獨戰役ニ當リテハ發著電報取扱ニ便宜ヲ與ヘ又大正三年中帝國政府カ同社所有長崎上海間海底電線ヲ借入上海發着和文電報ノ取扱ヲ開始セルニ際シテハ懇切ナル援助ヲ與ヘタル等其功勞顯著ナル者ニ有之候處今ヤ重病ニ罹リ危篤ニ陥リ候趣ヲ以テ叙勲ノ儀通信大臣男爵田健治郎ヨリ申立有之候間今人

多年ノ功勞ヲ録セラレ此際特ニ頭書ノ通叙勲
被仰出候様仕度此段謹テ奏ス

大正七年六月四日

外務大臣男爵後藤新平



外務省